



# ネットアップドキュメントの発表 Announcements

NetApp  
November 04, 2021

# 目次

ネットアップドキュメントの発表 .....	1
2021 年です .....	2
Trident の Astra ドキュメント .....	2
Astra Control Center のドキュメント .....	3
デフォルトブランチの名前を「 main 」に変更 .....	4
2020 年 .....	6
NetApp HCI 用のドキュメント更新 .....	6
ユーザエクスペリエンスの向上 .....	6
ONTAP System Manager のドキュメント .....	9
Cloud Compliance のドキュメント .....	9
ONTAP Select のドキュメント .....	10
2019 年 .....	12
NetApp HCI のドキュメント .....	12
スタイルガイドおよび構文リファレンス .....	13
NetApp SaaS Backup for Salesforce のドキュメント .....	14
NetApp Active IQ のドキュメント .....	15
新しいページの RSS フィード .....	16
Cloud Tiering のドキュメント .....	16
コンテンツ制作者向け GitHub アバター .....	17
2018 年 .....	18
構文の強調表示 .....	18
ページレベルのナビゲーション .....	19
Converged Systems Advisor 用のドキュメント .....	19
ドキュメントの変更を申請してください .....	20
Cloud Insights のドキュメント .....	21
Cloud Volumes ONTAP のドキュメント .....	21
Cloud Volumes Service for AWS のドキュメント .....	22
NetApp SaaS Backup for Office 365 のドキュメント .....	22
GitHub でネットアップドキュメントを導入 .....	22

# ネットアップドキュメントの発表

2018 年 2 月には、GitHub ベースのドキュメントを公開しました ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com) では、コミュニティの貢献を可能にしながら、コンテンツをより迅速に取得することを目標にしています。継続的に新しいコンテンツを追加し、コンテンツエクスペリエンスを改善します。最新の変更点については、このページをご覧ください。

最新のお知らせは次のとおりです。

- ["Trident の Astra ドキュメント"](#) (2021 年 9 月 9 日)
- ["Astra Control Center のドキュメント"](#) (2021 年 8 月 5 日)
- ["デフォルトブランチの名前を「main」に変更"](#) (2021 年 3 月 5 日)
- ["HCI ドキュメントを更新"](#) (2020 年 5 月 29 日)
- ["PDF をダウンロードします"](#) (2020 年 4 月 28 日)
- ["ユーザエクスペリエンスの向上"](#) (2020 年 3 月 17 日)
- ["ONTAP System Manager のドキュメント"](#) (2020 年 1 月 23 日)
- ["Cloud Compliance のドキュメント"](#) (2020 年 1 月 22 日)
- ["ONTAP Select のドキュメント"](#) (2020 年 1 月 22 日)
- ["NetApp HCI クラウドサービスおよびソリューション用のドキュメント"](#) (2019 年 11 月 22 日)
- ["スタイルガイドおよび構文リファレンス"](#) (2019 年 10 月 24 日)

# 2021 年です

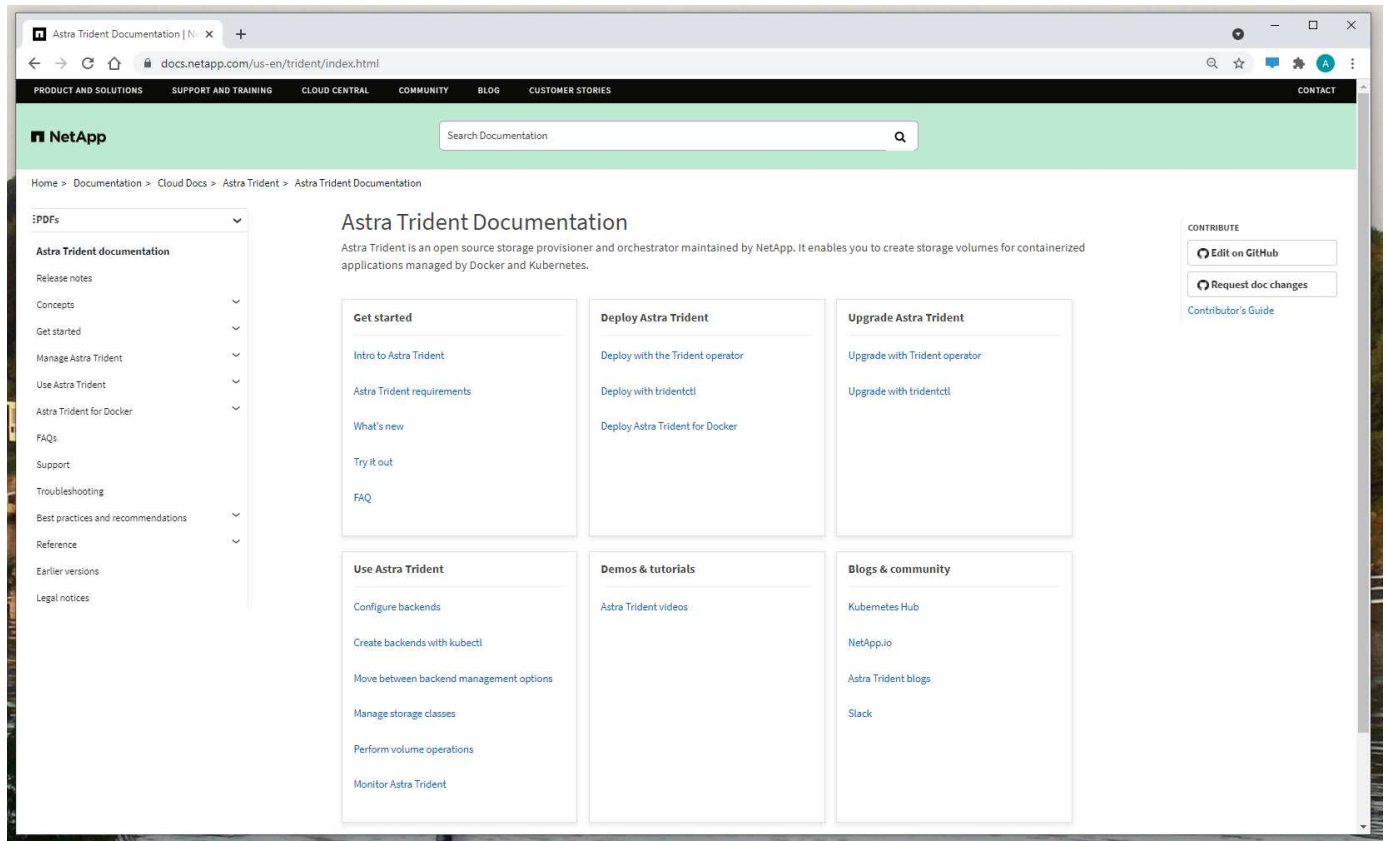
## Trident の Astra ドキュメント

ネットアップでは、Astra Trident の製品ドキュメントをから入手できるようになりました ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com)。

Astra Trident は、Container Storage Interface（CSI）に準拠した動的ストレージオーケストレーションツールで、一般的なネットアップストレージプラットフォームすべてのストレージリソースを消費および管理できます。

["Astra Trident のドキュメント"](#) ネットアップでは、Astra Trident の導入をすぐに支援する、などのトピックを提供しています およびまた、Astra Trident のアップグレードに関する情報なども、簡単に参照できる形式で提供されています。

このドキュメントでは、Astra 製品ファミリのコンテンツサポートを拡張しています ["Astra 制御サービス"](#)、および。



## 貢献したいですか？

ネットアップでは、内容に関するフィードバックを高く評価しており、製品ドキュメントの全ページに掲載されている「Request doc changes」機能の利用を推奨しています。ドキュメントプラットフォームには、GitHub ユーザー向けの埋め込みコンテンツ寄与機能も用意されています。

このドキュメントを参照して、投稿してください。編集、変更のリクエスト、フィードバックの送信も可能です。に進みます ["ネットアップ Astra Trident のドキュメント"](#) 開始します。

# Astra Control Center のドキュメント

この度、ネットアップは Astra Control Center の製品ドキュメントをリリースいたしましたので、お知らせいたします。

このドキュメントでは、Astra Control Service、Astra Control Automation、Astra Trident を含む Astra 製品ファミリーのコンテンツサポートを拡張しています。Astra Control Center は、Kubernetes 向けのオンプレミスアプリケーション対応のデータ管理機能を提供し、Kubernetes を新旧のオンプレミス ONTAP システムに接続します。

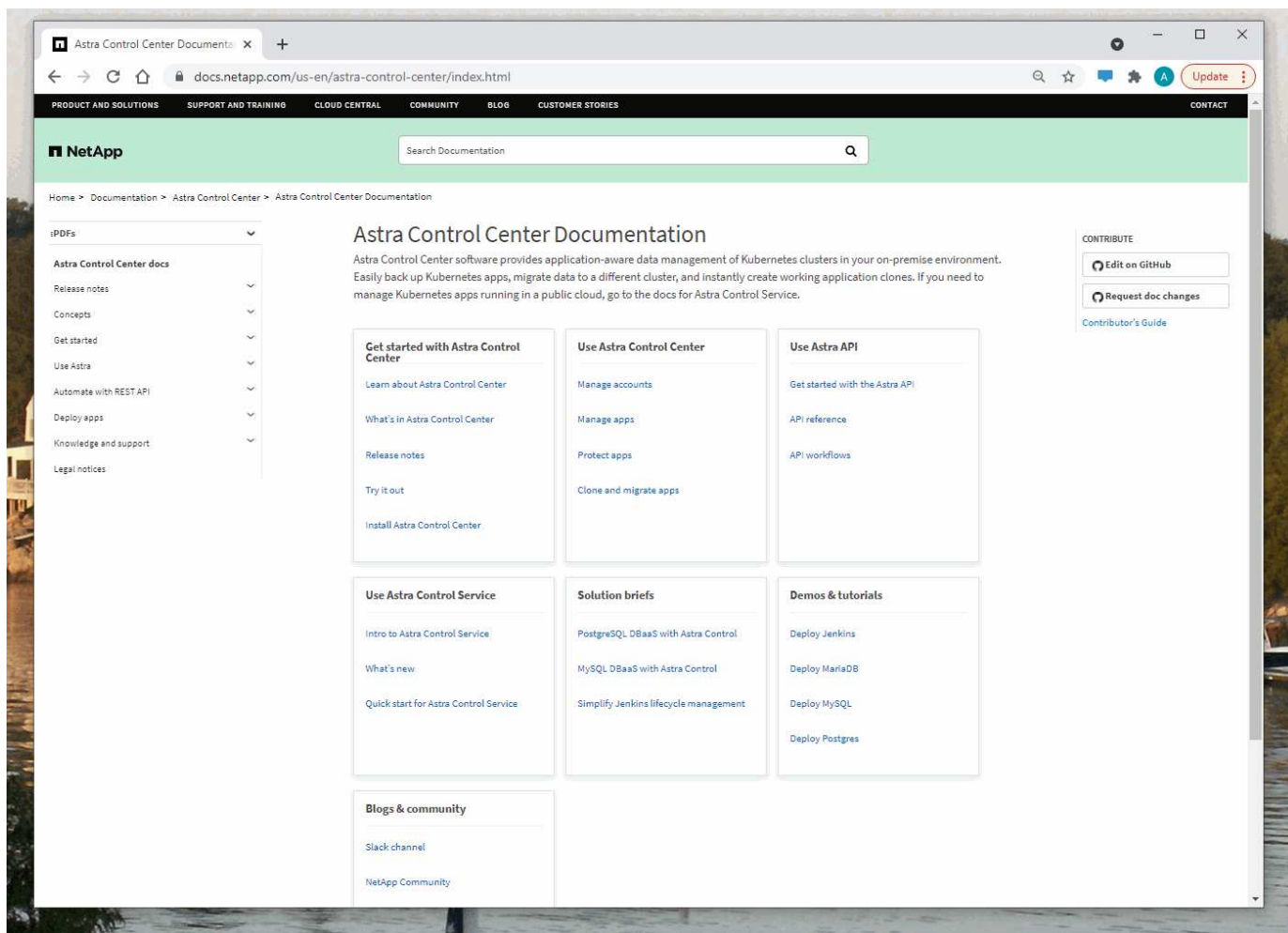
Astra Control Center のドキュメントサイトには、Astra Control Center の導入を迅速に開始するためのトピックが用意されています ["Astra Control Center 入門"](#) およびまた、Astra Control Center を使用して Kubernetes クラスタ、アプリケーション、ストレージバックエンドなどを管理する方法についても説明しています。

Astra 製品ファミリーのドキュメントは、次のサイトから入手できます。

- ["Astra Control Center のドキュメント"](#)
- ["Astra Control Service のマニュアル"](#)
- ["Astra Control Automation のドキュメント"](#)
- ["Astra Trident のドキュメント"](#)

ネットアップでは、内容に関するフィードバックを高く評価しており、製品ドキュメントの全ページに掲載されている「Request doc changes」機能の利用を推奨しています。ドキュメントプラットフォームには、GitHub ユーザー向けの埋め込みコンテンツ寄与機能も用意されています。

このドキュメントを参照して、投稿してください。編集、変更のリクエスト、フィードバックの送信も可能です。に進みます ["NetApp Astra Control Center のドキュメント"](#) 開始します。



## デフォルトブランチの名前を「**main**」に変更

ネットアップのすべてのテクニカルドキュメントリポジトリについて、デフォルトのブランチをマスターからメインに変更しました ["GitHub"](#)。この変更は、当社のテクニカルドキュメントで非包括的な言語を削除するための継続的な取り組みの一環です。

NetAppDocs/occm: Open-sour

github.com/NetAppDocs/occm

Search or jump to...

Pull requestsIssuesMarketplaceExplore

NetAppDocs / occm

Unwatch11

Star7

Fork13

<> Code

Issues5

Pull requests

Actions

Projects

Wiki

Security

Insights

Settings

main91 branches0 tags

Go to file

Add file

Code

akseldavis Merge pull request #489 from NetAppDocs/rename-branch886f7c72 days ago2,451 commits

.github/workflows	Rename default branch	2 days ago
_include	Added an include for content repeated between pages	last month
media	Merge pull request #478 from NetAppDocs/feb_2021_backup	19 days ago
.gitignore	Initializing Cloud Manager Structure	3 years ago
.travis.yml	Rename default branch	2 days ago
README.md	Create README.md	12 months ago
api.html	Updated API page for Cloud Manager 3.9.3	29 days ago
api_sync.adoc	Changed the endpoint to https://api.cloudsync.netapp.com	3 months ago
concept_accounts_aws.adoc	Link fixes	7 months ago
concept_accounts_azure.adoc	Link fixes	7 months ago
concept_accounts_gcp.adoc	Updated references to Cloud Volumes ONTAP versions	4 months ago
concept_azure_netapp_files.adoc	Removed Cloud Sync page for ANF	5 months ago
concept_backup_to_cloud.adoc	user comment 488 and added note from PM	4 days ago
concept_before_you_begin_to_de...	updated a few pages for gfc 1.0.2	2 months ago
concept_cloud_central_accounts...	add cc viewer role to more topics	6 months ago
concept_cloud_compliance.adoc	fix merge with b2c	20 days ago

About

Open-source documentation for NetApp Cloud Manager

[docs.netapp.com/us-en/occm/](#)

Readme

View license

Releases

No releases published

[Create a new release](#)

Packages

No packages published

[Publish your first package](#)

Contributors7

Environments1



# 2020 年

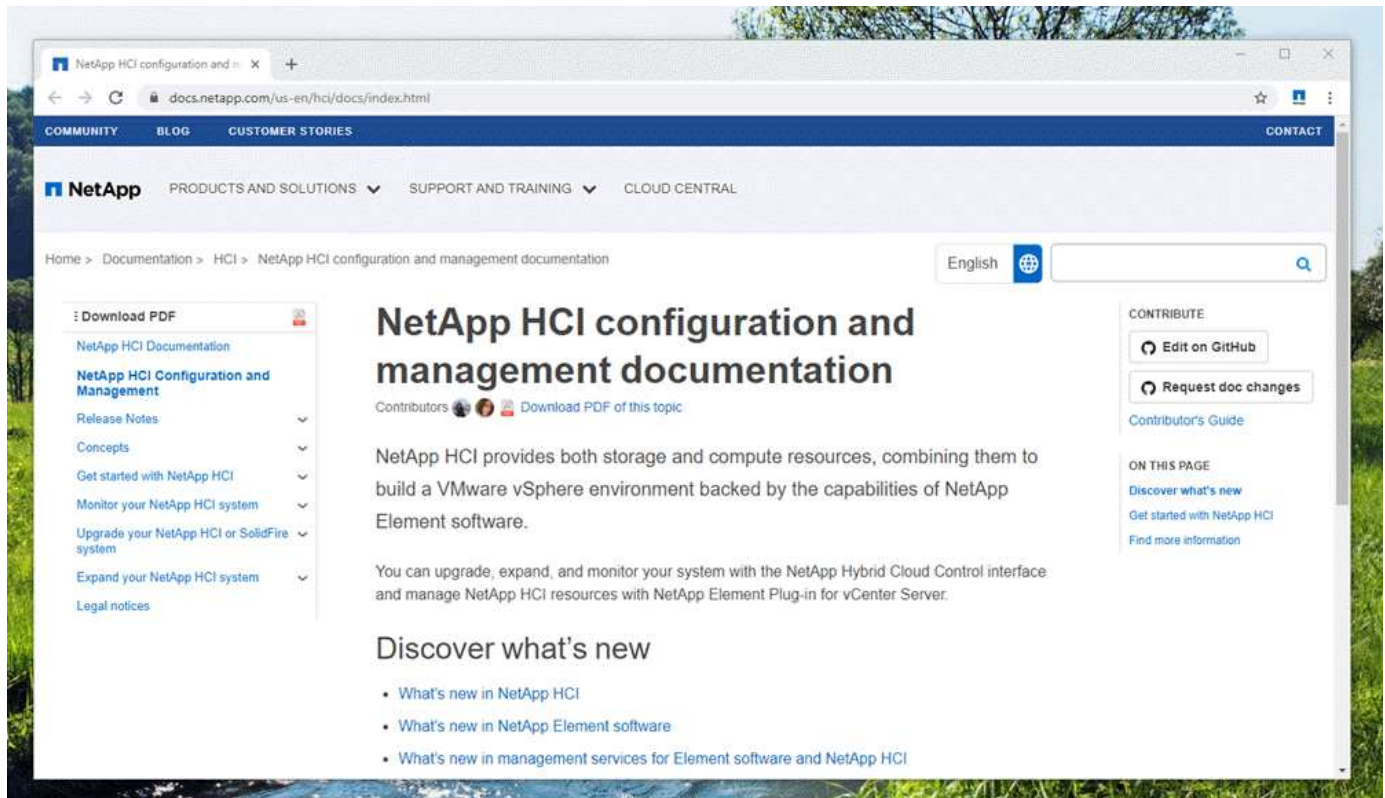
## NetApp HCI 用のドキュメント更新

NetApp HCI 1.8 リリースでは、docs.netapp.com に NetApp HCI に関する詳細情報を追加しました。

この更新プログラムでは、次の新しいトピックについて説明します。

- NetApp HCI、NetApp Element ソフトウェア、管理サービス、および NetApp Element Plug-in for vCenter Server の新機能とリリースノートをもとめたリリースノートセクション
- 新しく導入を開始するためのインストールと導入の概要について説明します
- システムの拡張と監視の方法については、こちらを参照してください
- クラスタおよびノードの概要、パフォーマンスを管理するために設定可能なサービス品質の説明など、基本的な概念に関するセクションです
- 管理サービス、HealthTools、Element ソフトウェア、Element Plug-in for vCenter Server の更新方法など、NetApp HCI のエンドツーエンドのアップグレード方法をまとめた場所

NetApp HCI のドキュメントを参照してください。編集、変更のリクエスト、フィードバックの送信も可能です。に進みます ["NetApp HCI のドキュメント"](#) 開始します。



## ユーザエクスペリエンスの向上

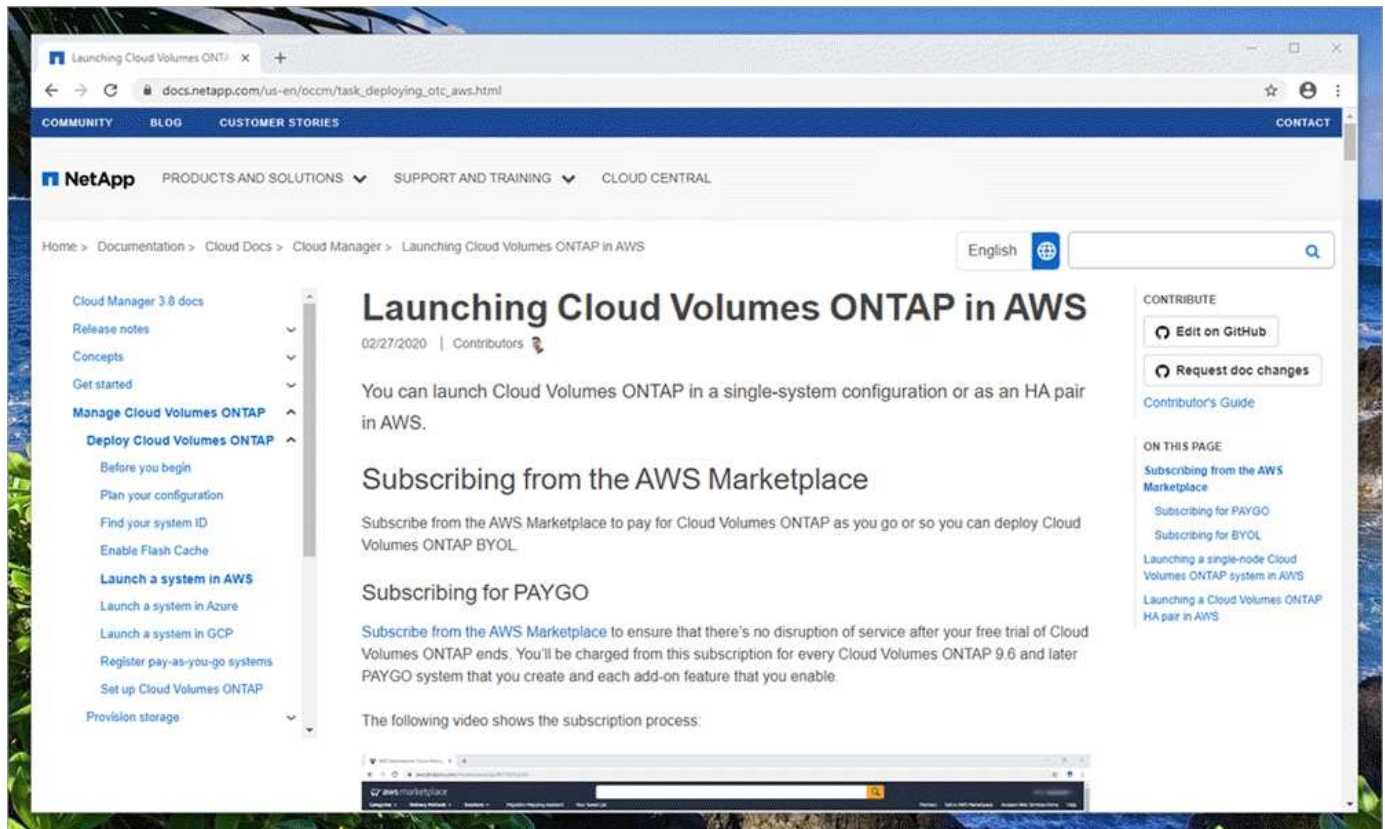
GitHub ベースのドキュメントのユーザエクスペリエンスが強化されました



"docs.netapp.com"。これらの変更により、ネットアップのオンラインコンテンツ全体で一貫したエクスペリエンスを実現できます。

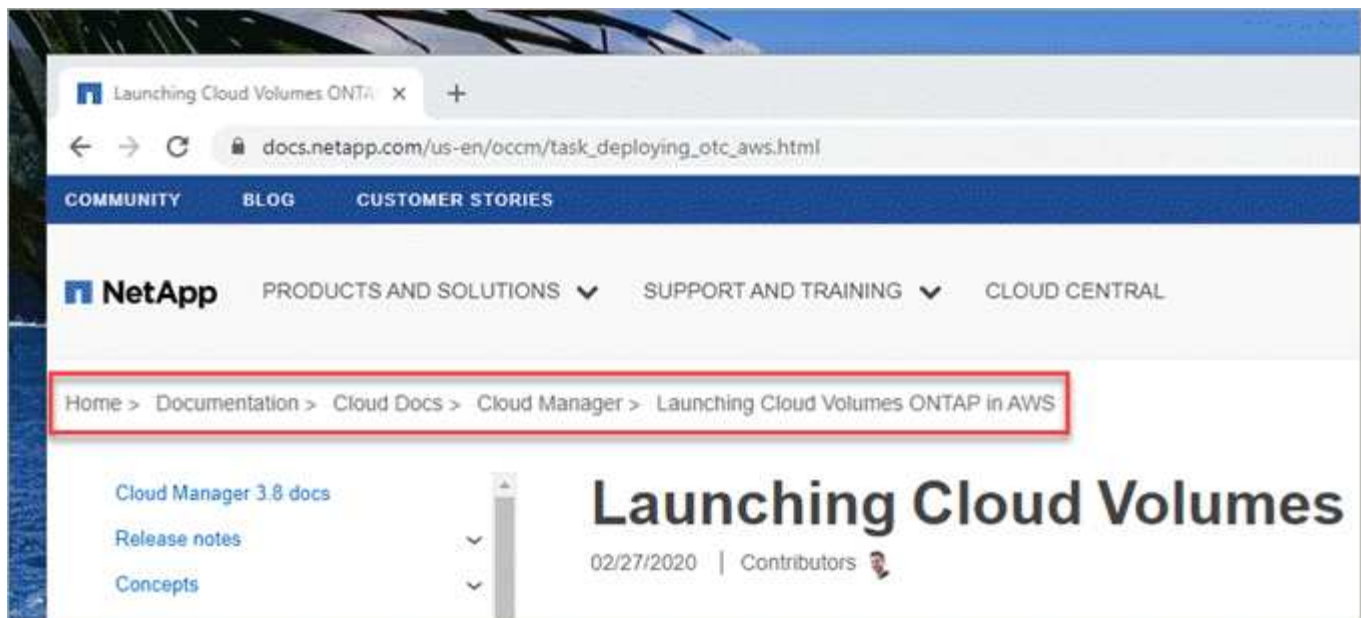
## レイアウトとスタイル

ドキュメントのレイアウトとスタイルは、netapp.com にあるものとよく似ています。これには、フォントと色、左右のナビゲーションのレイアウト、ヘッダーとフッターが含まれます。



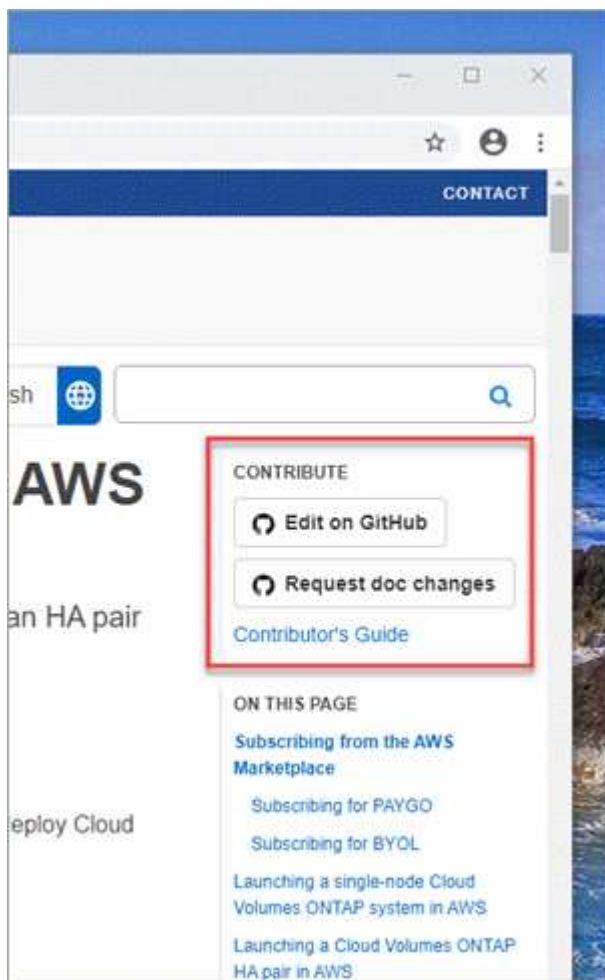
## ブレッドクラム

ネットアップのドキュメント間を簡単に移動できる階層リンクを追加しました。たとえば、「\* Documentation \*」をクリックすると、docs.netapp.com に戻ることができます。



## 投稿へのリンク

コンテンツへのリンクは、ページレベルのナビゲーションよりも上位に統合されています。これらのリンクは、コンテンツをスクロールすると常に表示されます。そのため、ページのどこかに問題がある場合は、ボタンをクリックして直接変更を送信したり、フィードバックを送信したりすることができます。



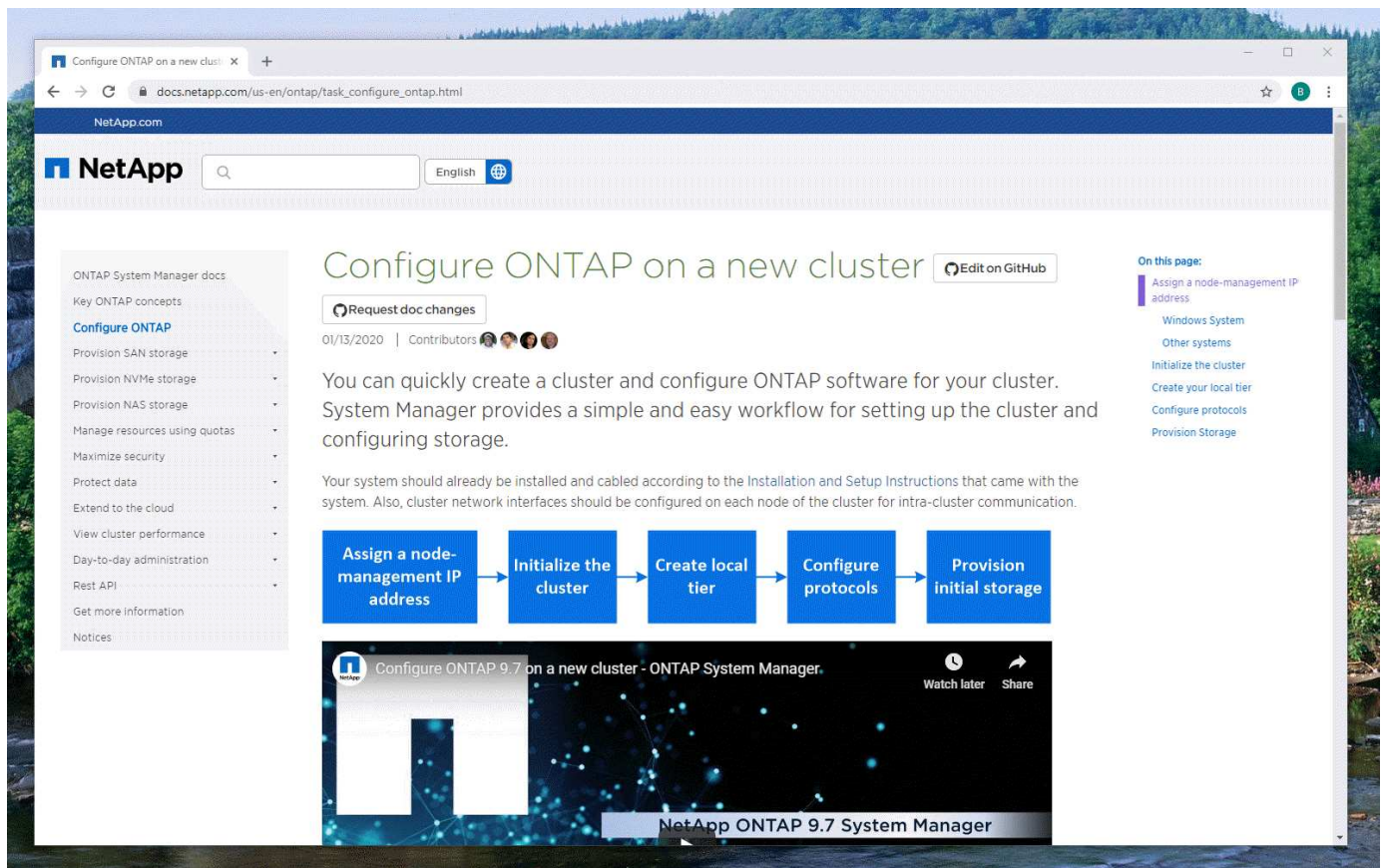
# ONTAP System Manager のドキュメント

ONTAP 9.7 が一般提供されたので、ONTAP System Manager 用のコンテンツが docs.netapp.com に再設計されました。

ONTAP 9.7 以降では、ONTAP System Manager の設計が全面的に見直され、わかりやすいグラフィカルユーザーインターフェイスを使用して ONTAP の管理が簡易化されています。新しいダッシュボードでは、主要なクラスタのステータスとパフォーマンスが 1 つの画面に表示されます。

ONTAP System Manager のドキュメントも全面的にリニューアルされました。ナビゲーションが簡単なコンテンツは、すばやく簡単に使用できます。主要な管理タスクの概要については、組み込みのビデオをご覧ください。

にアクセスします ["ONTAP System Manager のドキュメント"](#) をダウンロードしてご確認ください。



## Cloud Compliance のドキュメント

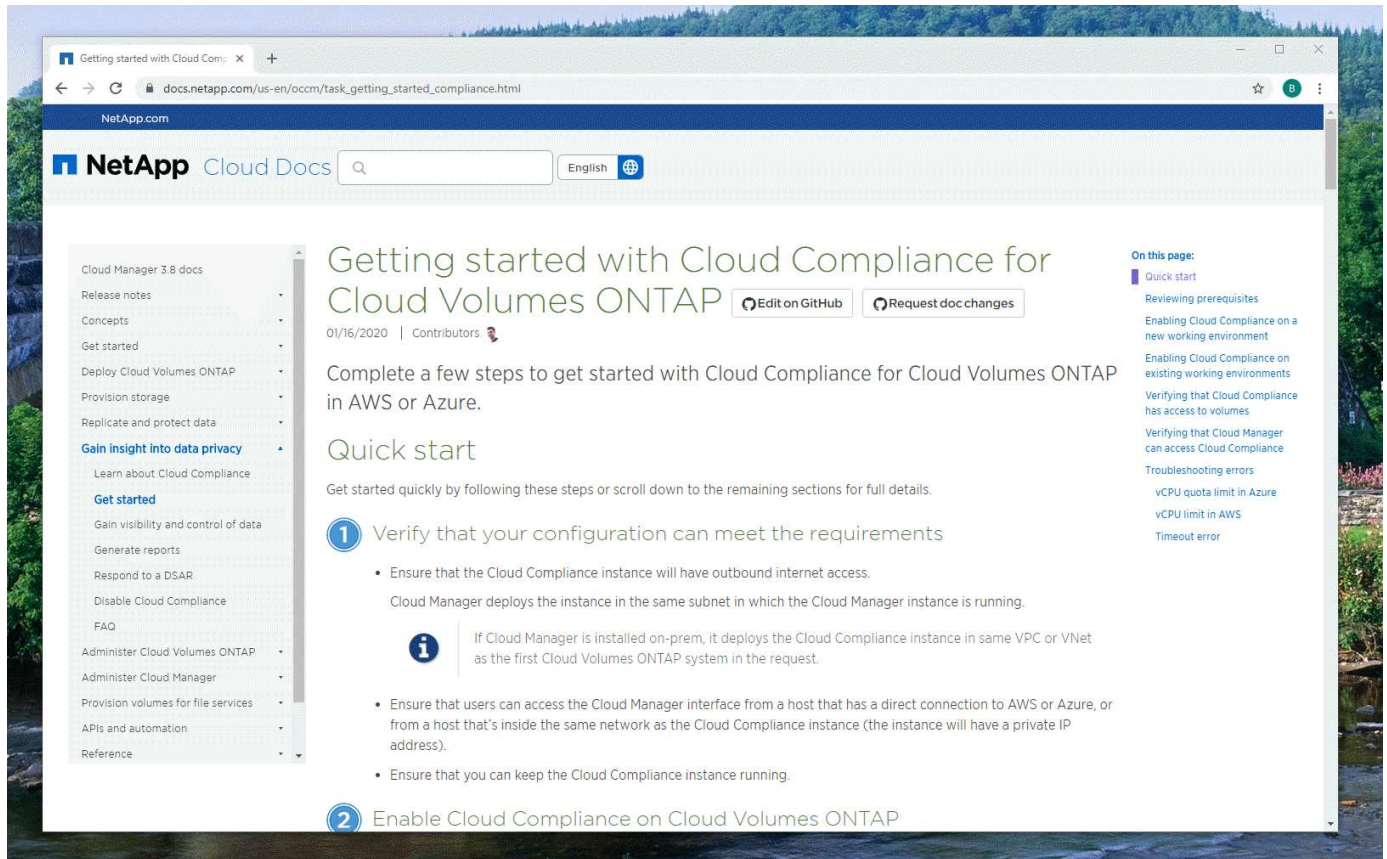
2019 年末直前に、Cloud Compliance サービスに関する Cloud Manager のドキュメントにコンテンツを追加しました。

Cloud Compliance は、AWS と Azure での Cloud Volumes ONTAP 向けのデータプライバシーとコンプライアンスのサービスです。人工知能（AI）ベースのテクノロジーを使用したクラウドコンプライアンスは、データコンテキストを把握し、Cloud Volumes ONTAP システム全体で機密データを特定するのに役立ちます。



Cloud Compliance の運用と管理には Cloud Manager を使用します。Cloud Compliance 機能には、Cloud Manager の \* Compliance \* タブからアクセスできます。

にアクセスします "[Cloud Manager のドキュメント](#)" をクリックして、開始方法を確認してください。



## ONTAP Select のドキュメント

最近、ONTAP Select のコンテンツを追加しました。このコンテンツは、VMware ESXi で実行されている ONTAP Select に役立ちます。また、ONTAP Select Deploy REST API を使用するためのハイパーバイザーに依存しないドキュメントを提供します。

この変更は、コンテンツオーサリングチームが複数のソースからのコンテンツを 1 つの検索可能なオンラインライブラリに統合したことで大変喜ばしいことです。

ONTAP Select に関する新しいドキュメントを参照して、投稿してください。編集、変更のリクエスト、フィードバックの送信も可能です。にアクセスします "[ONTAP Select のドキュメント](#)" をダウンロードしてご確認ください。

The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying `docs.netapp.com/us-en/ontap-select/task_install_deploy.html`. The page header includes the NetApp logo, a search bar, and a language selector set to "English". A left-hand navigation menu lists various documentation topics, with "Install ONTAP Select Deploy" highlighted. The main content area is titled "Installing ONTAP Select Deploy" and includes a "Request doc changes" button, a date of "11/24/2019", and a list of contributors. The text explains that the user needs to install the ONTAP Select Deploy administration utility to create a cluster. A section titled "Downloading the virtual machine image" states that the package can be downloaded from the NetApp support site. An "About this task" section describes the utility as a virtual machine based on the Open Virtualization Format (OVF) standard. Finally, a "Steps" section lists three instructions: accessing the support site, downloading the software, and finding the product.

Installing ONTAP Select Deploy [Edit on GitHub](#)

[Request doc changes](#)

11/24/2019 | Contributors

You need to install the ONTAP Select Deploy administration utility and use the utility to create an ONTAP Select cluster.

## Downloading the virtual machine image

You can download the ONTAP Select package from the NetApp support site.

### About this task

The ONTAP Select Deploy administration utility is packaged as a virtual machine based on the Open Virtualization Format (OVF) standard. The single compressed file has the suffix `.ova`.

### Steps

1. Access the NetApp support site using a web browser and click **Support Quick Links**.
2. Click **Download Software** under **Top Tasks** and sign in.
3. Click **Find your product**.

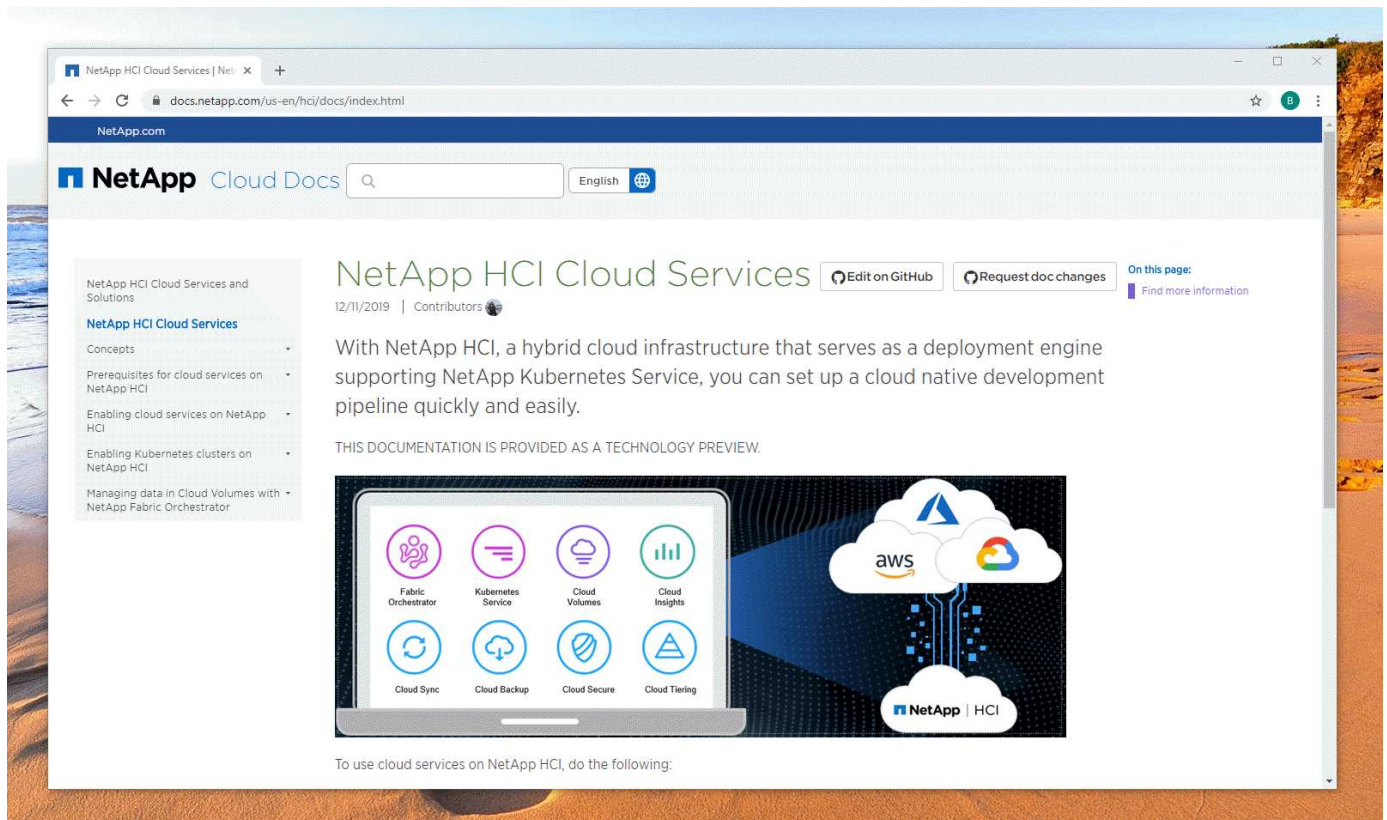
# 2019 年

## NetApp HCI のドキュメント

NetApp HCI でクラウドサービスを有効にし、NetApp HCI ソリューションカタログにアクセスするためのドキュメントを追加しました。

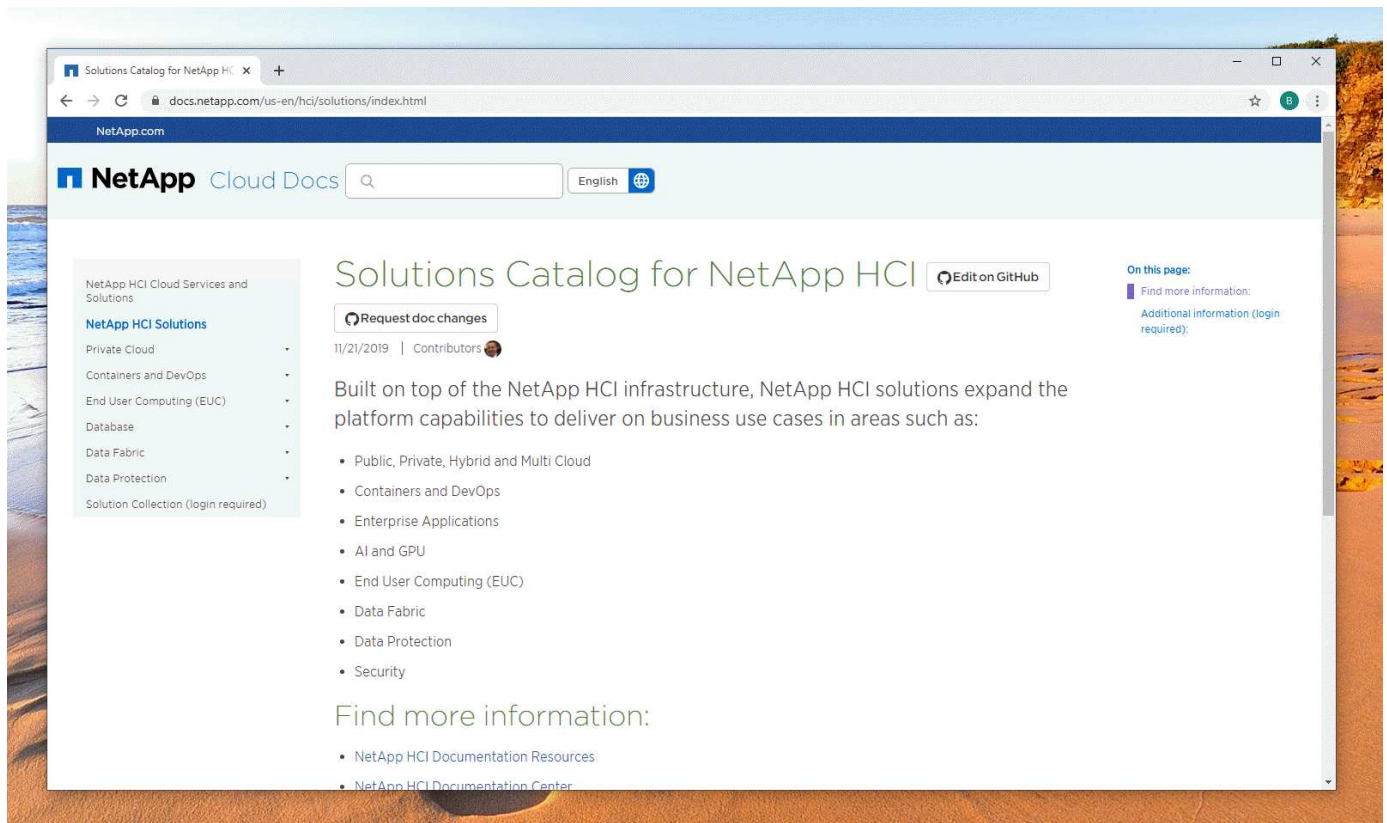
に進みます ["NetApp HCI クラウドサービスとソリューション"](#) NetApp HCI でクラウドサービスを使用する方法、および NetApp HCI でのソリューションの使用方法については、を参照してください。

クラウドサービスの情報では、NetApp HCI ハイブリッドクラウド制御を使用してクラウドサービスを有効にする方法、クラスタを作成してアプリケーションを迅速に導入する方法、および NetApp Fabric Orchestrator を使用して NetApp HCI で Cloud Volume を作成する方法について説明します。Fabric Orchestrator は、ストレージとデータの管理を行う一元化されたコントロールプレーンです。ストレージ資産とデータ資産をあらゆる場所で検出して管理できます。



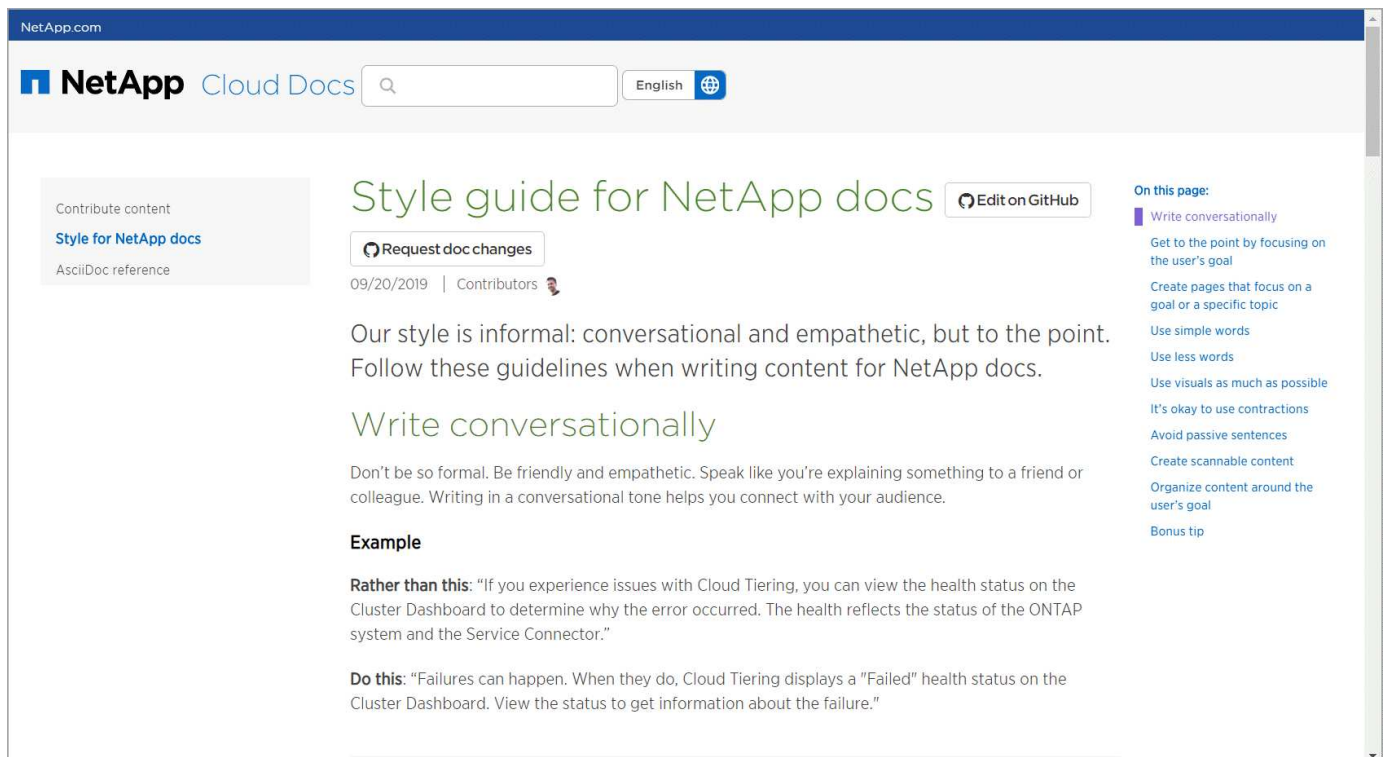
また、プライベートクラウドの導入と運用に必要な情報をお客様に提供する NetApp HCI ソリューションカタログを追加し、オンプレミスとオフプレミスの両方にわたるさまざまなユースケースをサポートします。NetApp HCI ソリューションは、DevOps、エンドユーザコンピューティング、エンタープライズアプリケーション、人工知能、データ保護、データファブリック管理などのテクノロジー分野で、パブリッククラウド、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドにわたって付加価値を提供します。





## スタイルガイドおよび構文リファレンス

を更新しました **"寄稿者向けガイド"** GitHub に格納されているネットアップドキュメントの形式と構文をカバーするため。





いくつかの理由から、コンテンツの一部を GitHub に格納し始めました。重要な理由の 1 つは、コミュニティによる貢献を可能にすることです。ネットアップのドキュメントはパートナー様からのフィードバックにより改善されています。ネットアップのお客様、パートナー様、およびネットアップの従業員からのフィードバックです。

フィードバックを提供する 1 つの方法は、GitHub に保存されているソースコンテンツを編集することです。



コンテンツの更新を送信できるように、次の情報を追加しました ["寄稿者向けガイド"](#)：

ネットアップのドキュメントのスタイルガイド

この軽量ガイドに従って、ネットアップのドキュメントのスタイル（会話型と共感型）を説明します。

### AsciiDoc リファレンス

Markdown に似た軽量マークアップ言語である AsciiDoc 構文を学習するには、次の参照先を参照してください。

これらのリソースはネットアップのマニュアルにご参加いただき、誠に恐縮ですが、今後の参考にさせていただきます。ソースコンテンツを直接編集しない場合でも、[\*Request doc changes] をクリックしてフィードバックを送信できます。フィードバックを確認して、そこからお寄せください。

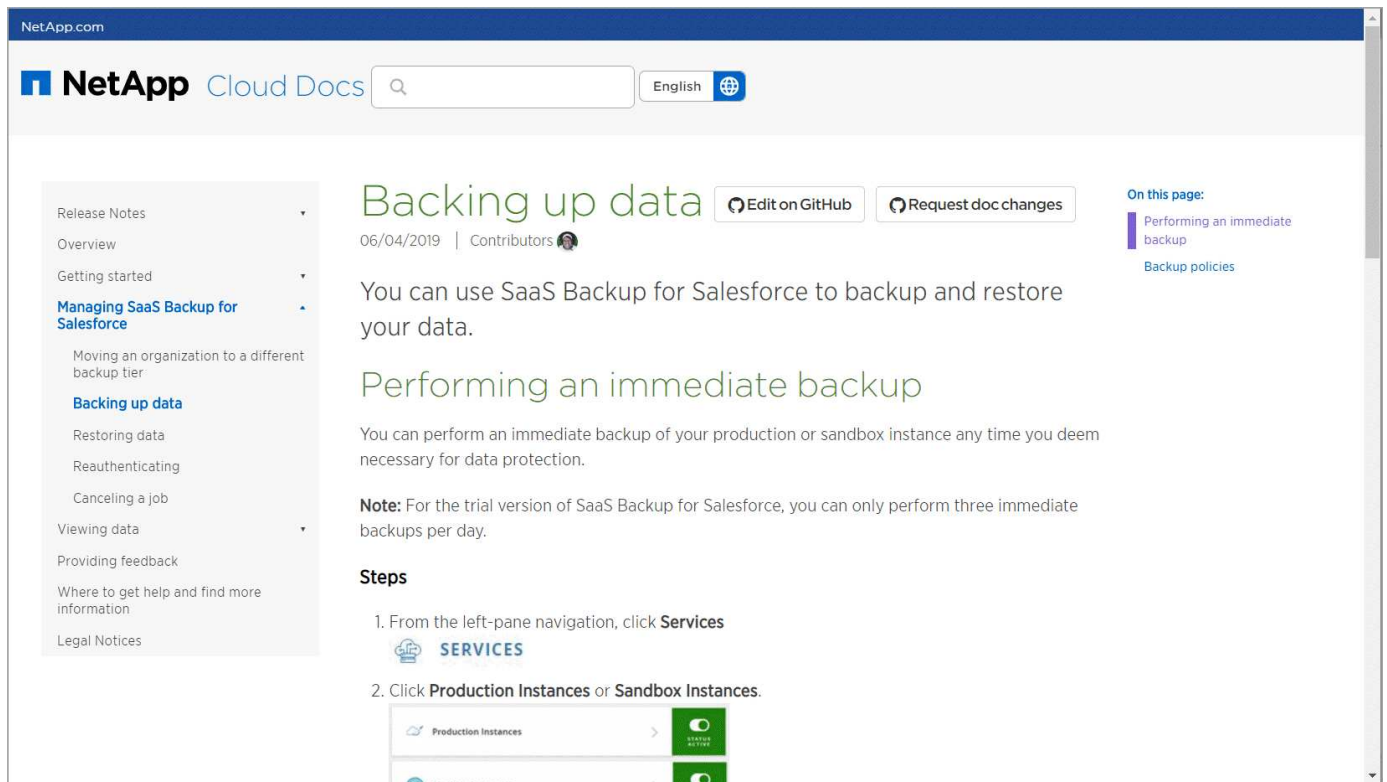
ご協力になりました。

## NetApp SaaS Backup for Salesforce のドキュメント

新しいネットアップサービスのドキュメントを追加しました。NetApp SaaS Backup for Salesforce のドキュメントがから入手できるようになりました ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com)。

NetApp SaaS Backup は、Salesforce データを Amazon S3 ストレージにバックアップする、セキュアなクラウドネイティブサービスです。SaaS Backup を使用すると、脅威や予想外の削除からデータを保護できます。

にアクセスします ["NetApp SaaS Backup for Salesforce のドキュメント"](#) をクリックして、開始方法を確認してください。

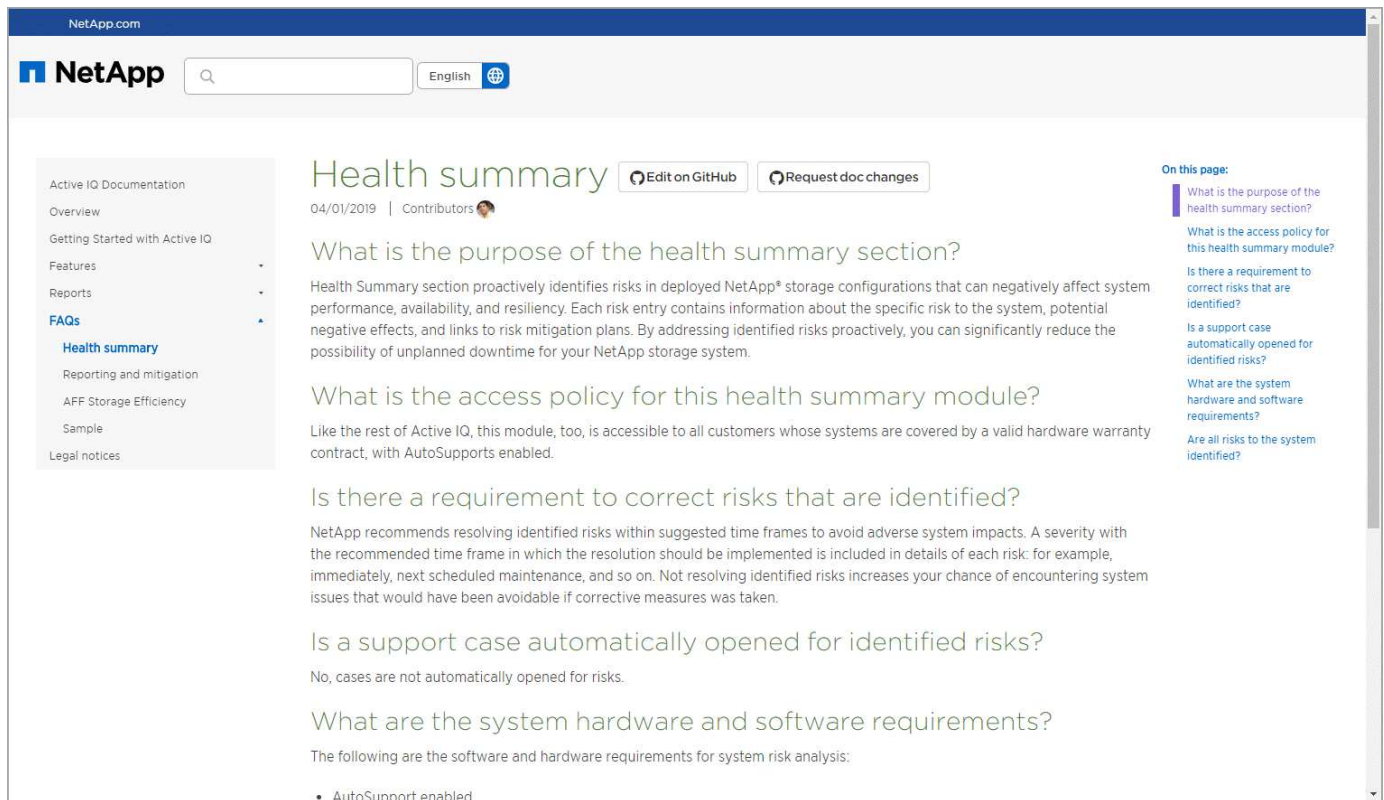


## NetApp Active IQ のドキュメント

NetApp Active IQ のドキュメントが公開されました "[docs.netapp.com](https://docs.netapp.com)".

NetApp Active IQ インテリジェントエンジンは、ネットアップのハイブリッドクラウド全体にわたって運用を最適化するための予測分析とプロアクティブなサポートを提供するクラウドベースのサービスです。

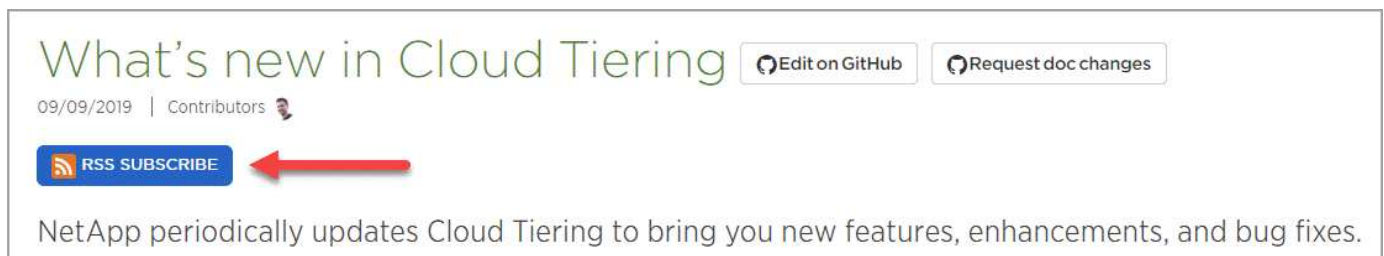
にアクセスします "[Active IQ のドキュメント](#)" をクリックして、開始方法を確認してください。



## 新しいページの RSS フィード

RSS ボタンをドキュメントの「新機能」ページごとに追加したので、お気に入りの RSS フィードリーダーでコンテンツの更新を受け取ることができます。フィードを通じて、ネットアップの製品やサービスで導入された新機能や拡張機能を常に最新の状態に保つことができます。

関心のある製品またはサービスの「新機能」ページにアクセスします。の例を次に示します ["Cloud Tiering Service の略"](#)：



お使いの RSS フィードリーダーに応じて、ページ URL をコピーするか、\* RSS Subscribe \* をクリックしてフィード URL をコピーします。リーダー内の URL を検索して、次の手順を開始します。ページが更新されるたびに、フィードに更新情報が反映されます。

## Cloud Tiering のドキュメント

ネットアップの新しい Cloud Tiering サービスのドキュメントをに用意しました ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com)。

Cloud Tiering は、NetApp FabricPool テクノロジをベースにしており、ONTAP クラスタ内の使用頻度の低いデータを特定し、クラウド内の低コストのオブジェクトストレージに自動的にかつシームレスに移動します。

にアクセスします "[Cloud Tiering のドキュメント](#)" をクリックして、開始方法を確認してください。

The screenshot shows the NetApp Cloud Docs website. The main heading is "How Cloud Tiering works" with a date of 08/06/2019 and a list of contributors. Below the heading is a brief description of Cloud Tiering as a NetApp-managed service using FabricPool technology. A sidebar on the left lists various document categories like "Cloud Tiering docs", "What's new", and "Concepts". On the right, there's a section titled "On this page:" with links to "Overview", "NetApp Service Connector", "Object storage", "S3 storage classes", "Azure Blob access tiers", and "Volume tiering policies". Below the text is an "Overview" section with a diagram illustrating the architecture. The diagram shows a "Cloud Tiering service" connected via "HTTPS" to a "Service Connector", which in turn connects via "HTTPS" to "Object storage" in a "Cloud provider". The "Object storage" contains "inactive data". Labels indicate "ONTAP API operations" and "Data transfer over an HTTPS connection".

## コンテンツ制作者向け **GitHub** アバター

ドキュメント内の各ページに、ページに貢献したユーザーの GitHub アバターが含まれるようになりました。この変更は、ネットアップドキュメントコミュニティ主導の目標を達成するためのものです。

プル要求を作成することで、ソースコンテンツに変更をコミットしたすべてのユーザーの GitHub アバターが表示されます。作成者は、お客様、ネットアップパートナー、または従業員のいずれかです。次に例を示します。

The screenshot shows the "NetApp Cloud Volumes Service for AWS documentation" page. It features the title, a date of 01/24/2019, and a list of contributors represented by small circular avatars. A red arrow points to the avatars, highlighting the new feature. The page also includes links for "Edit on GitHub" and "Request doc changes".

専門家でも初心者でも、コンテンツに変更を加えることができます。そのため、投稿内容には不慣れです。

アバターは小さいので、ドキュメントパスを見るたびにネットアップライターの顔に圧倒されることはないことに注意してください: [□]

# 2018 年

## 構文の強調表示

ハイライト表示を追加することで、最も一般的な言語の構文を簡単に確認できるようになりました。

たとえば、NetApp Cloud Central からユーザトークンを取得するための構文を次に示します。

```
POST https://netapp-cloud-account.auth0.com/oauth/token
Header: Content-Type: application/json
Body:
{
  "username": "<user_email>",
  "scope": "profile",
  "audience": "https://api.cloud.netapp.com",
  "client_id": "UaVhOIXMWQs5i1WdDxauXe5Mqkb34NJQ",
  "grant_type": "password",
  "password": "<user_password>"
}
```

ご覧のように、[ コピー ] ボタンも追加されています。このボタンを使用すると、構文をクリップボードに簡単にコピーできます。

JSON 出力を示す別の例を次に示します。

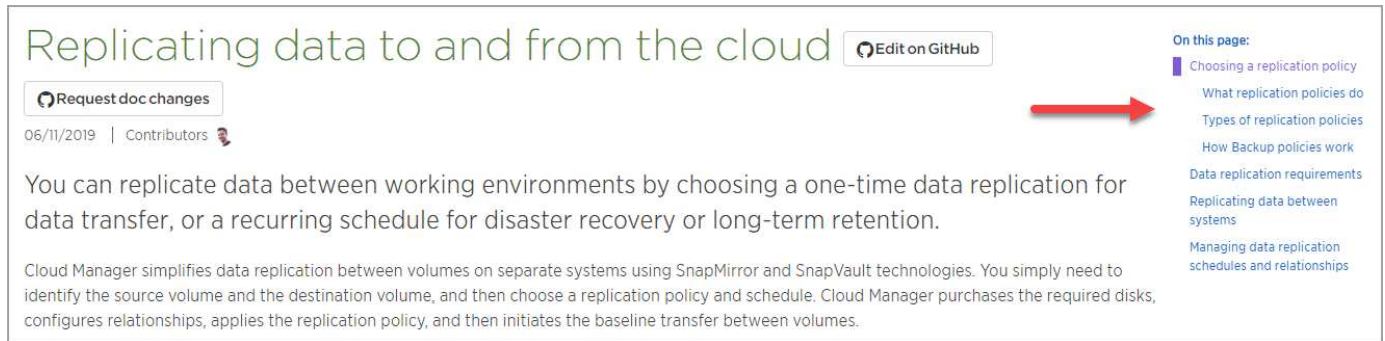
```
[
  {
    "header": {
      "requestId": "init",
      "clientId": "init",
      "agentId": "init"
    },
    "payload": {
      "init": {}
    },
    "id": "5801"
  }
]
```

この機能強化が役立つことを願っています。

## ページレベルのナビゲーション

ページレベルのナビゲーションは、複数のセクションを含む各ページに含まれるようになりました。

この機能拡張により、スクロールしている場所を簡単に確認したり、ページ上の特定のセクションにジャンプしたりできます。



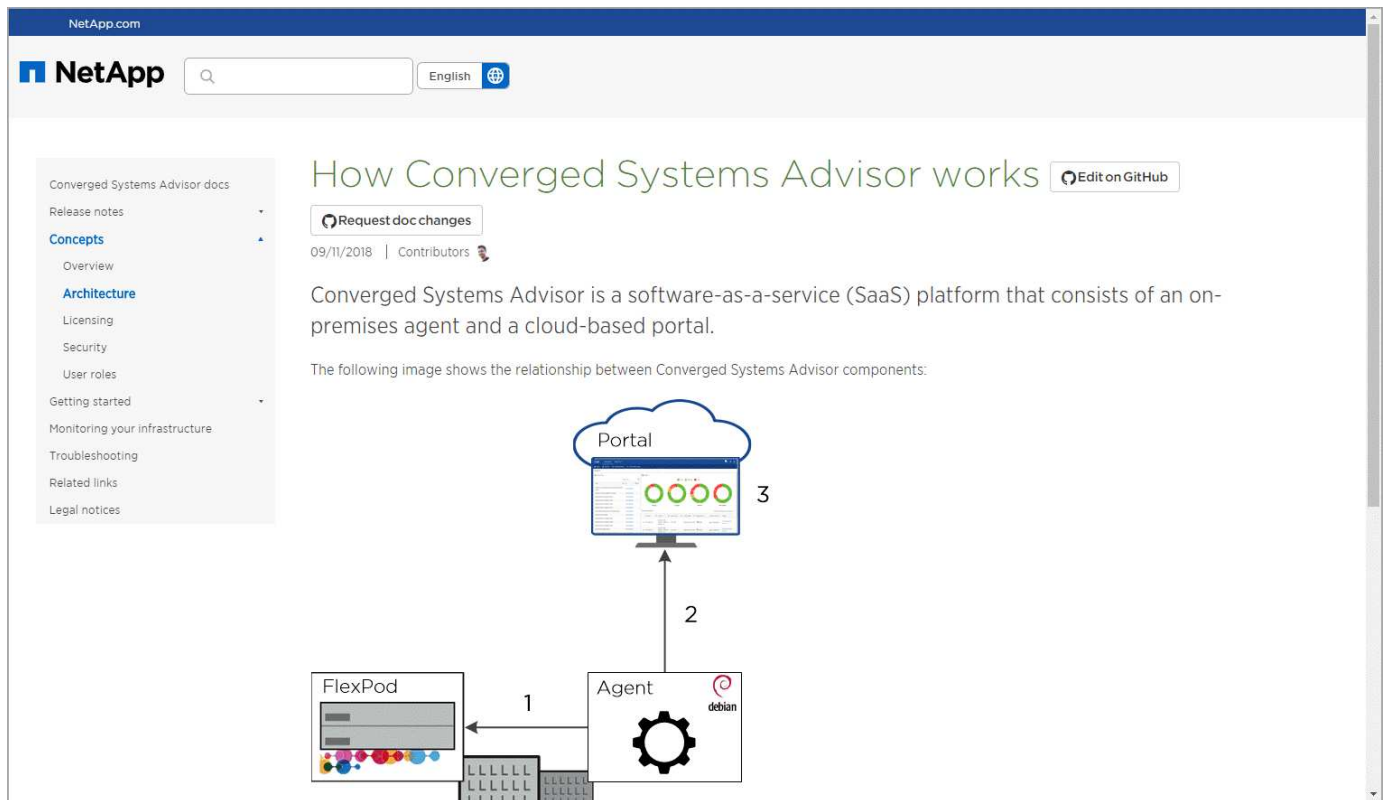
## Converged Systems Advisor 用のドキュメント

Converged Systems Advisor のドキュメントをから入手できるようになりました ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com)。

NetApp Converged Systems Advisor は、FlexPod コンバードインフラの導入を検証、監視、最適化し、ビジネスアプリケーションに最適なパフォーマンスと可用性を確保します。

にアクセスします ["Converged Systems Advisor のドキュメント"](#) をクリックして、開始方法を確認してください。





## ドキュメントの変更を申請してください

ドキュメントの変更をリクエストする際に、ソースコンテンツを直接編集しない場合は、[\*Request doc changes] をクリックしてフィードバックを提供できるようになりました。

この新しいボタンは、各ページの上部に表示されます。



[\*Request doc changes] をクリックすると、GitHub アカountの作成またはサインインを求めるプロンプトが表示されます（無料で、アカウントを簡単に作成できます）。

ログインすると、新しい GitHub 問題を作成するためのフォームが表示されます。テキストボックスには、ページのタイトルと URL があらかじめ入力されています。この情報は削除しないでください。問題を見つけたページを特定するのに役立ちます。



Title

Write Preview

AA B i “ <> @ [List Icon] [Checkmark Icon]

Page: [Selecting the region](https://docs.netapp.com/us-en/cloud\_volumes/aws/task\_selecting\_region.html)

Attach files by dragging & dropping, selecting them, or pasting from the clipboard.

Styling with Markdown is supported

Submit new issue

テキストボックスに詳細を入力し、[ 新規問題の送信 ] をクリックして、リクエストの問題を作成します。

フィードバックを確認して、そこからお寄せください。

## Cloud Insights のドキュメント

ネットアップの新しい Cloud Insights サービスに関するドキュメントがに公開されました "[docs.netapp.com](https://docs.netapp.com)".

NetApp Cloud Insights は、インフラ全体を可視化できるクラウドインフラ監視ツールです。Cloud Insights を使用すると、パブリッククラウドやプライベートデータセンターなど、すべてのリソースの監視、トラブルシューティング、最適化を行うことができます。

にアクセスします "[Cloud Insights のドキュメント](#)" をクリックして、開始方法を確認してください。

## Cloud Volumes ONTAP のドキュメント

Cloud Volumes ONTAP のリリースノートをに追加しました "[docs.netapp.com](https://docs.netapp.com)".

Cloud Volumes ONTAP は、ファイル共有、NAS および SAN プロトコル（NFS、SMB、iSCSI）を提供するブロックレベルストレージ、ディザスタリカバリ（DR）、バックアップとアーカイブなど、さまざまなユースケースでデータ制御とエンタープライズクラスのストレージ機能を組み合わせています。DevOps、データベース（SQL、Oracle、NoSQL）、その他のエンタープライズワークロード

にアクセスします "[Cloud Volumes ONTAP のドキュメント](#)" をクリックしてリリースノートを確認してください。Cloud Volumes ONTAP の導入と管理の方法について説明したドキュメントが必要な場合は、を参照してください。

## Cloud Volumes Service for AWS のドキュメント

新しいネットアップサービスのドキュメントを追加しました。Cloud Volumes Service for AWS のドキュメントがから入手できるようになりました ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com)。

NetApp Cloud Volumes Service for AWS は、NFS や SMB 経由で NAS ボリュームにオールフラッシュのパフォーマンスを提供するクラウドネイティブのファイルサービスです。このサービスを使用すると、従来型アプリケーションを含むあらゆるワークロードを AWS クラウドで実行できます。

にアクセスします ["Cloud Volumes Service for AWS のドキュメント"](#) をクリックして、開始方法を確認してください。

## NetApp SaaS Backup for Office 365 のドキュメント

新しいネットアップサービスのドキュメントを追加しました。NetApp SaaS Backup for Office 365 のドキュメントがに公開されました ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com)。

NetApp SaaS Backup は、Microsoft Office 365 データを Amazon S3 ストレージ、Microsoft Azure Blob ストレージ、StorageGRID Webscale オブジェクトストレージにバックアップする、Web ベースのセキュアなソフトウェアサービス（SaaS）です。

にアクセスします ["NetApp SaaS Backup for Office 365 のドキュメント"](#) をクリックして、開始方法を確認してください。

## GitHub でネットアップドキュメントを導入

ネットアップ初の GitHub ベースのドキュメントサイトである [clouddocs.netapp.com](https://clouddocs.netapp.com)—which は、現在 Cloud Manager と Cloud Sync のドキュメントをホストしています。

ドキュメントは、AsciiDoc（Markdown に似た軽量フォーマット）で記述され、GitHub リポジトリに保存され、HTML コンテンツとしてに提供されます ["docs.netapp.com"](https://docs.netapp.com)。

この新しいドキュメントでは、主に次のようなメリットがあります。

- コンテンツの迅速な更新

クラウドとオープンソースのリソースを活用して、製品リリースサイクルを短縮しています。

- コミュニティへの貢献

ネットアップでは、インライン編集と拡張機能を推奨する機能を提供して、ネットアップの作成者とお客様の距離を短縮しました。

- 応答性に優れたデザイン

サイトは、ネットアップのドキュメントへのアクセスに使用するすべてのデバイスに対して、応答性に優れたレイアウトを提供します。

当社では、継続的にサイトを改善し、時間の経過とともにコンテンツを追加する予定です。皆様のご意見をお待ちしております。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.